

## 公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年4月15日

団体名 岡崎市地球温暖化防止隊

代表者 織田 重己

構成員 72人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

市民・事業者・行政が一体となって、地球温暖化防止活動の推進を図ることを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。  
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

## ■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
10月6日 1月19日	市内各所	市民	20名	「MMB 岡崎!」の実施 自動車から排出されるCO2の削減を意識づけるため、公共交通の利用とウォーキングを合わせたイベントを実施した。
9月(通年募集)	市内全域	市民	10名	「環境フォトコンテスト」の実施 環境保全や地球温暖化について考えるきっかけとするため、市内の自然環境に関する写真を広く募集し、展示した。
10月13日	籠田公園	市民	120名	「スコシズツ、マーケット」における啓発 廃油を利用したキャンドル作り、すごろく、自転車発電等によりリサイクル、地球温暖化対策を啓発した。
3月9日	南部市民センター	市民	47名	「燃料電池教室」の実施 CO2を排出しない燃料電池を作成し、構造を理解するとともに、水素社会について考える講座を実施した。

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。&lt;ex.自然環境&gt;

## ■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

地球温暖化防止、自然環境の保全、環境に負荷を与えない新たなエネルギーなどについて理解や考えることを促し、行動変容のきっかけづくりをすることができた。こうした市民が増えることで、温室効果ガスの排出量が抑制され、地球温暖化対策が推進されることで、気候変動の緩和が期待できる。

## ■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 (4) 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

地球温暖化は全ての人に関わる問題である。子どもから大人まで広い世代を対象にした様々な活動ができ、参加者の地球温暖化防止に対する意識の向上に結び付けることができた。また、HP や動画配信、報道機関による取材等を通じ、参加者以外へも幅広く周知することができた。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。